

令和 6 事業年度決算の概要

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構
Japan Expressway Holding and Debt Repayment Agency

トピックス ～損益の状況～

1. 経常収益 2兆342億円 (前年比+517億円)

- 各高速道路会社の交通量が昨年度に比べ増加となり、料金収入が増加しました。
- そのため各高速道路会社からの道路資産貸付料収入は、2兆21億円（前年比+520億円）となりました。

2. 経常費用 1兆4,417億円 (前年比+116億円)

- 道路資産貸付業務費は、資産の減価償却費の増加等により、1兆1,572億円（前年比+84億円）となりました。
- 財務費用は、支払利息の減により、2,280億円（前年比▲51億円）となりました。

3. 経常利益 5,925億円 (前年比+400億円)

- 道路資産貸付料収入の増加等により経常利益は増加しました。

トピックス ～資産・負債の状況～

4. 資産総額 41兆4,137億円 (前年比▲2,381億円)

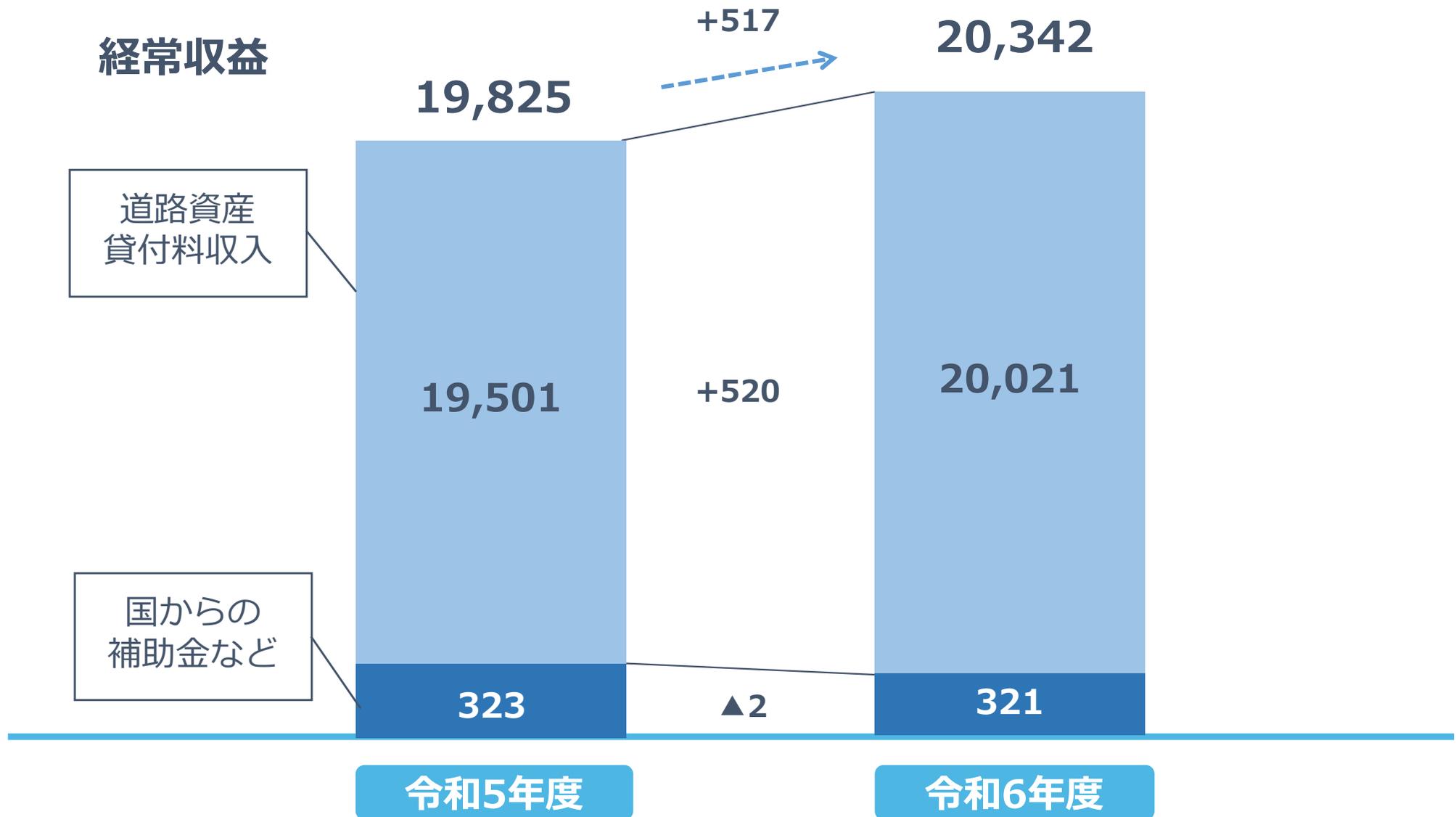
- 流動資産は、道路資産貸付料等未収入金の減少等により、5,762億円（前年比▲1,471億円）となりました。
- 固定資産は、一般国道497号西九州自動車道（佐々IC～佐世保中央IC）の改築による資産帰属の増加等を、減価償却による減少等が上回ったため40兆8,374億円（前年比▲909億円）となりました。

5. 負債総額 25兆3,999億円 (前年比▲8,680億円)

- 負債は、各高速道路会社からの債務引受による増加等を、機構債及び長期借入金の償還等が上回ったため減少しました。
- これらを踏まえた上で、債務の確実な返済を確認しています。

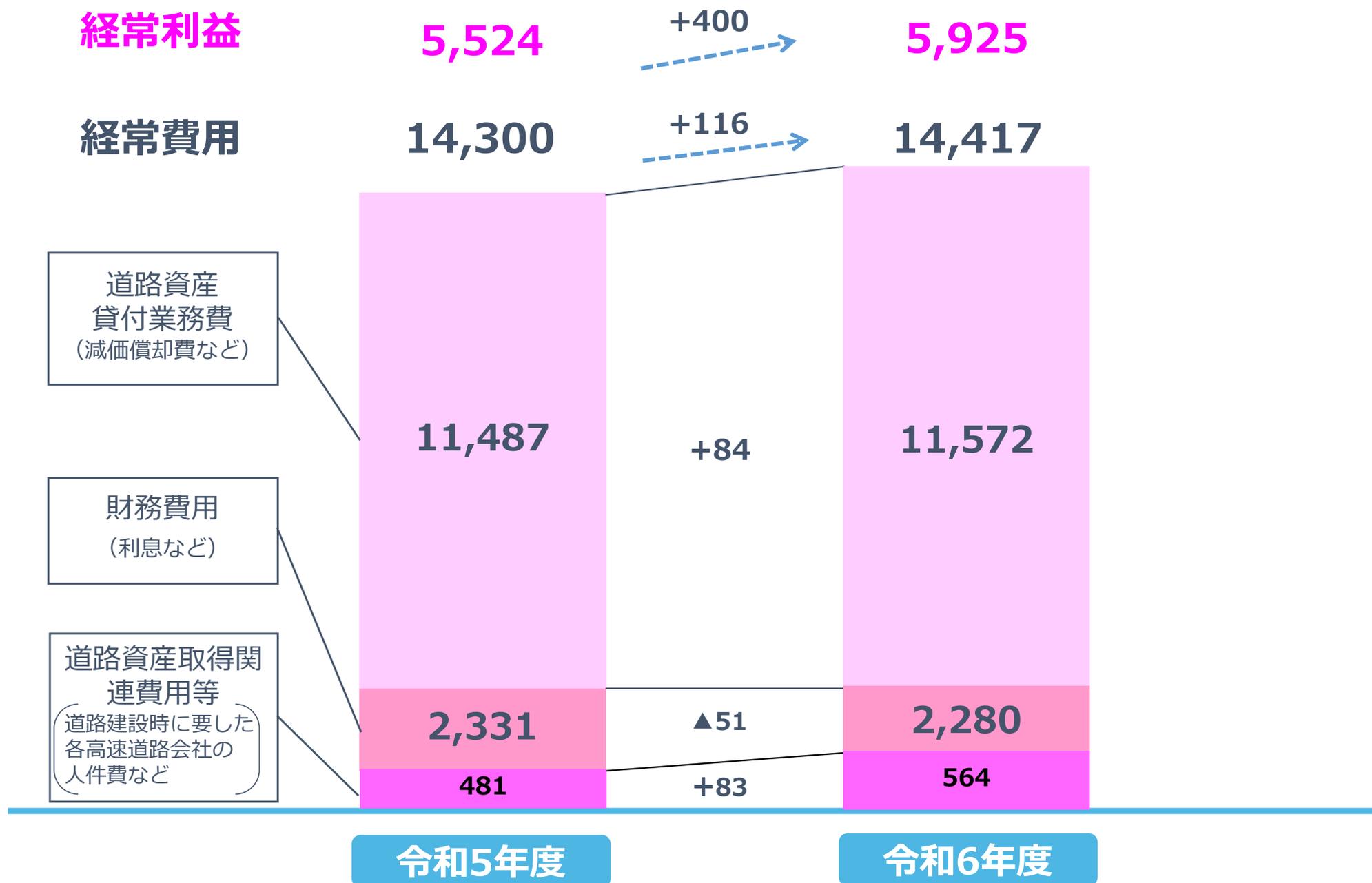
経常収益の前年比較

(単位：億円)



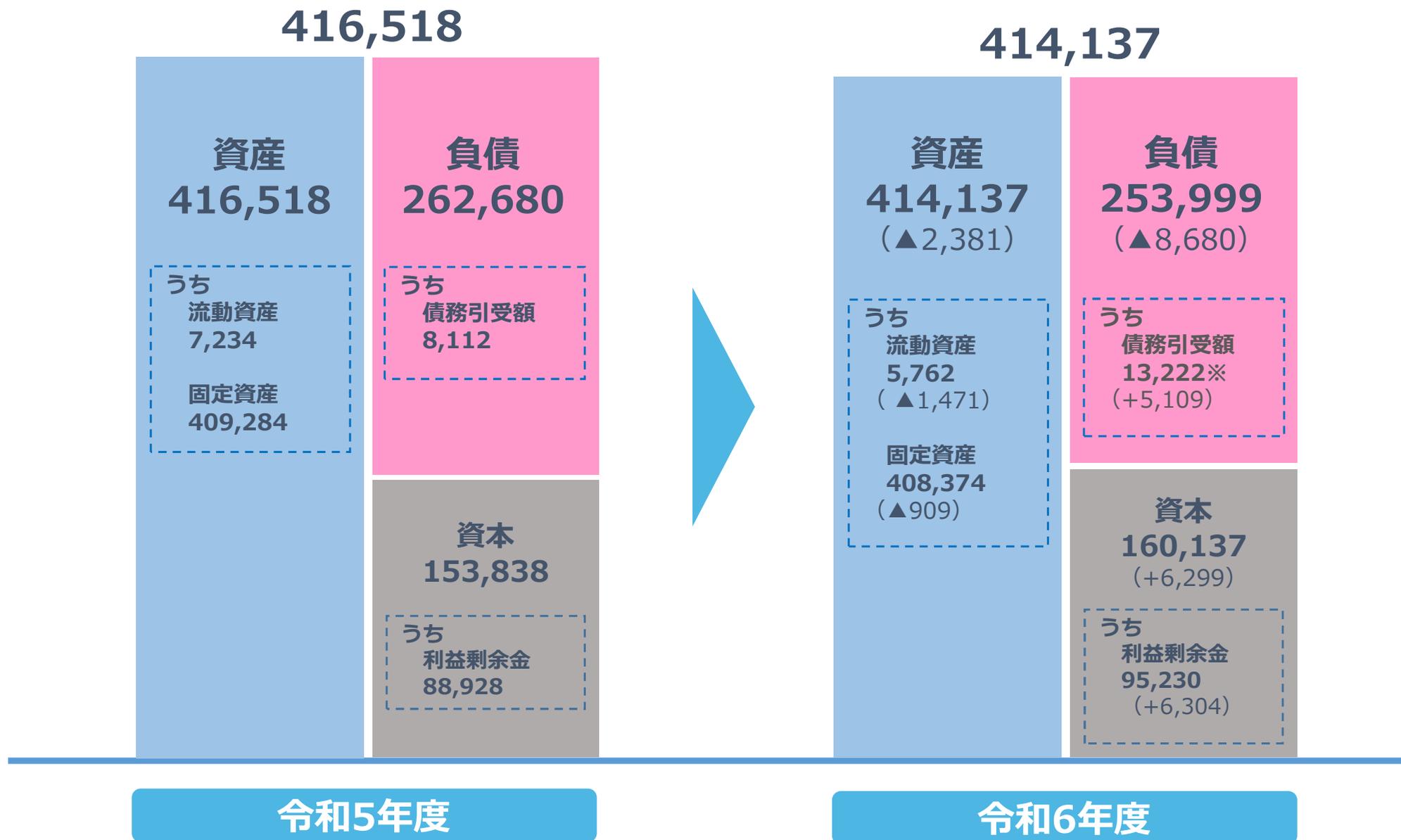
経常利益と経常費用の前年比較

(単位：億円)



貸借対照表の前年比較

(単位：億円)



※金額は、法人単位財務諸表（PDF）の
長期借入金及び機構債の明細（17ページ目）に掲載しています。